

ベストクラス候補選定理由書

作成者：辻 留奈, 藤島 千絵, 新濱 由梨, 浅海 真弓, 岡田 雅弘

科目名称 初等音楽科教育法 (Bクラス)		(担当教員名: 八代 健志)	
課程 : 学部	開講時期 : 前期		
授業形態 : 講義・演習	授業規模 : 81人以上		
インタビュー対象教員名 八代 健志 (実施日時: 令和元年7月20日 9:20~10:10; 実施場所: 総合研究棟 3F 中会議室)			
インタビュー対象受講者名 宮本 悠平, 高倉 孝輔 (実施日時: 令和元年7月20日 9:20~10:10; 実施場所: 総合研究棟 3F 中会議室)			
<p>選定理由</p> <p>本授業科目は学部二回生での必修科目であり、演習を交えた講義形式で前期の間行われた授業である。</p> <p>必修であるにもかかわらず授業評価アンケートでの高評価コメントが多く、学生からの意欲的な意見が見受けられたのでベストクラスの候補となり、その後のインタビューでは本授業が学生に対する工夫が数多くされているものと知ることができた。このような経緯で本授業を今年度のベストクラス候補の1つとして選定することとなった。以下にその判断に至った理由と本授業の魅力を具体的に詳述する。</p> <p>1) 学生にとって魅力あふれる授業</p> <p>この授業では主役はあくまで学生であり、学生が楽しめるような工夫が凝らされていた。例えば、シェアカードを用いて意見の交換をしたり、忘れ物をした学生にあえて授業内での仕事を任せるなどして、なるべく学生全員が参加できるような取り決めがなされていた。また、教員がパワーポイントを作成する際にはわざと漢字の間違いなどを入れておき、学生がそれを指摘するようにし、最後まで授業に集中できるような配慮がなされていた。</p> <p>実際の指導内容も実際の現場教育に役立つように工夫されており、音楽が得意な人をベースにするのではなく、苦手な人でも音楽教育を理解できるように、ゲームや簡単な動作がふんだんに取り入れられていて取り組みやすかった、との学生の意見もあった。</p> <p>2) 環境づくりの上手さ</p> <p>こちらの担当教員は、なるべく学生に授業を楽しんで帰ってもらうということを念頭に授業作りをされているようで、それについての学生からの反応は授業アンケートでも伺えた。実際のインタビューでは他にも、TAの方を上手に使い、教員と学生の橋渡しをしてもらっていることや、学生の態度によってそのときの話の内容を変えてみたりと、様々な工夫が凝らされていることを知った。このような話からも、教員の旺盛なサービス精神と自らも学び続ける向上心がうかがえた。</p> <p>以上から、この度の初等音楽科教育法Bクラスをベストクラス候補として選定する。</p>			